様式第７号（第８条関係）

令和７年11月７日

三鷹市議会議長　様

議員行政視察に係る結果報告書

会派名　三鷹市議会公明党　　代表者名　　大倉　あき子

１視察年月日	令和７年11月４日（火）　～　令和７年11月５日（水） （１泊２日）
２視察者氏名	大倉あき子　　粕谷　稔　　佐々木かずよ ＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　計　３　人
３視察先及び視察項目	愛知　都・道・府・㊥　　名古屋　　㊐・町・村 名古屋市立山吹小学校 イエナプランを取り入れた教育について
４視察結果等	イエナプラン教育は、ドイツで始まりオランダで広がった、一人ひとりを尊重しながら自律と共生を学ぶオープンモデルの教育である。 山吹小学校では令和元年度からイエナプランを導入し、本年で７年目になる。 子どもが自分で計画的に学習する「山吹セレクトタイム」（以後ＹＳＴ）を導入している。具体的には、子どもたちが週ごとに学習計画を立て、学習方法や場所も自由に決めて学習を進めている。更に、異学年グループで探究的な学習を進める「ふれあい活動」を実施しており「自立と共生」を重視し、一人ひとりを尊重する教育指導を行っている。 今回の視察では、４年生と６年生のクラスを参観させていただいた。 教科書、プリント、ICT 教材など、学び方や教材は選べることを常に全員で共有し、選択肢も単元進度表に示したり、教室に掲示したりしていた。子どもたちはいつ、何を、どのように学ぶかを自分で決める授業風景だった。子ども達は、わからないことがあったら、自分で調べてもいいし、友達や先生に聞いてもいい。複数の解決方

	法があることをYSTの実践から学んでいた。 教員も生徒を見守る時間が増えるため、前学年の復習が必要な子どもやさまざまな特性がある子どもにも個別対応がしやすいとのことで、子ども自身が引け目を感じずにいられるのもYSTのメリットだと感じた。 現在、小学校、中学校の不登校児童が35万人以上と過去最多となり、これまでの画一的な教育では解決できない多くの課題がある。新しい教育の在り方として、イエナプラン教育の理念にある子ども達が「自律して学ぶ」ことを育むことが重要と考える。今後、本市の教育施策においてもイエナプラン教育を参考にしていきたい。

参考　※11月5日　京エコロジーセンター（民間）京都府京都市
ボーダレス・アートミュージアム（民間）滋賀県近江八幡市